

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

目次

【令和7年（2025年）8月3日（オンライン）開催分】 参加者 51 名 1

【令和7年（2025年）8月17日（きらら深沢）開催分】 参加者 45 名 5

【令和7年（2025年）8月21日（オンライン）開催分】 参加者 37 名 11

【令和7年（2025年）8月23日（鎌倉商工会議所）開催分】 …順次追加予定 14

【令和7年（2025年）8月3日（オンライン）開催分】 参加者 51 名	
No.	質問
1	新案についても反対する議員の主な反対意見に関し、その反対内容と、対する回答を教えてください。
2	この方針転換は暫定的なものなのでしょうか？最終的に全面移転を目指すお考えはないのでしょうか
3	1．分散化することにより、移転もしくは移転せずに現在位置のままよりも無駄なコストは発生しないでしょうか。 例えば、職員内での移動・公用車の利用や現在地の建て替えの時に係る仮の市役所のコストなど想像ができます。 他自治体で無駄なコストが発生しているケースをいくつか拝見しておりますが、現時点でどれくらいコストが膨れ上がるか試算できておりますでしょうか。 （システムのコストの面でも二拠点に事務所があると、専用のネットワークを敷設するなど、どうしてもコストが爆増するように見えてしまいます・・・） 2．市職員と執行部との連携が大変になるのではないのでしょうか？ 特に、災害時には通信機器などが使えなくなり、別れていると連携が途絶えてしまい、迅速な災害対応ができなくなるのではないのでしょうか。
	先日（7月23日）市議会全員協議会では、大きく言うと、市役所を一つに集約する必要がない、新しく大きな市役所を作る必要がなく今後分散していくという考え方に基づいたご意見があったと記憶しています。（このほか市議会全員協議会においては、政策決定のプロセスが透明化されていない、市が示したスケジュールでは市民の意見をまとめる時間が足りない、計画をリセットしてはどうか、庁舎を分けることの必要性がわからないなどのご意見がありました。） 新しく大きな市役所に多額な費用をかけて作る必要がないという点について、今後市役所自体は、オンライン化により市役所に来る必要なく手続をできる、ということがもうすぐそこまで来ていると考えています。それにより、当然職員の働き方も変わってきます。今回、深沢の新庁舎で多くの職員が仕事を予定ですが、当初のまま50年、100年ずっと変わらないということではありません。今後20年、30年という中で職員の働き方も変わり、仕事の中身について見直しをして、例えば職員の執務室が減り、その分市民の皆さんのスペースが増えるということもできるということを前提に考えています。市役所（職員の執務室）が市内各地に分散して、仕事をするということは現実的ではないと考えています。 最終的に全面移転するという前提で今回方針変更しているわけではありません。あくまでも、本庁舎はこの鎌倉の地域でその役割を担っていき、そして、深沢の新庁舎については、先ほど申し上げた多くの職員が働きます。それ以外にも、それぞれに図書館ですとか市民活動のベースとかを設け、全て市民の皆さんにこう解放していくという形になっていきます。市役所は、今までは単なる事務所というイメージだったと思うのですが、市民の皆さんが、毎日たくさん集まってくるような場所となるよう、鎌倉の本庁舎と深沢の新庁舎の両輪で進めていきたいと考えています。 1．全て（市長・議会など）を一か所に集約するこれまでの計画が、財政的にも効率的であり、無駄なものを最小限に抑えられると考えていました。ただし、これまでの計画では、本庁舎を移転するために必要な議会での3分の2以上の賛成を得るのが難しい現実がありました。 そういう中において、そこだけに焦点を当てるわけではなく、深沢と鎌倉の2拠点での両輪を生かして、災害に強いまちづくりを実現させていくために、今回の案を検討したところです。 （今回の案でも）市民の皆さんには大きな不便がないと考えています。職員が別々の場所にいることによる移動のコストや通信での連携といった課題に対しては、余計なコストがかかり続けるということではなく、現在も、市役所全てが1か所に集約しているという状況ではなく、例えばスポーツ課や環境部の部署が外部にあり、それほど変わりがないところがあります。市長、議会と多くの職員が、基本的に別な場所になるということになりますが、この間のコミュニケーションについては、昨今（今日のような）、オンライン（会議）も発達してきていることがあり、技術の活用で解決可能と考えており、行政コストが大幅に上昇するようなことはないと考えています。厳密な試算はありませんが、今回の2拠点という案によって大きく変わるものではないと考えています。 2．災害時には全ての通信機器が使えなくなる想定の中で、災害対応を行う必要があると考えています。いざ大きな災害があった時には、災害対策本部を1か所に設け、多くの関係職員が参集すること基本であり、情報を集約して迅速に意思決定することが、災害後に市が行うことです。通信とは別な話ではありますが、災害対応もずっと2拠点でやっているのではないことをご理解いただきたいと思います。 3．反対の方のご意見は多くありましたが、一つは鎌倉市のシンボルと思われているということは感じてきたところです。シンボルかどうかは、議論となるのですが、市役所が今の場所から全て無くなってしまおうという印象を持たれた方が多くいらっしゃいました。この誤解を解くという意味で改めて説明しますと、現在の本庁舎がある場所には、これまでの計画でも今回の案でも市民サービスを提供する窓口や相談の場は残すこととしています。更には、

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	通常業務においても、行政のコストは上がるなど、いずれにしてもコストが上がるイメージしかないので、税金を納めている市民としては納得するのは難しそうです。 3. そもそも移転反対される方の真意を行政・執行部側は認識されているのでしょうか。意見としては様々ですが、集約すると①鎌倉市のシンボル・象徴となるところだから。②市役所でしかできない手続きがあること。だと思います。 以下は、私の所感満載なので、対応の参考にさせていただきたいです。 ①については、行政がいかにして説得できるかだと思っています。 市役所よりも旧鎌倉には象徴的なものがいっぱいあるので、なぜ”市役所”がシンボルとなるのか不思議です。昭和 44 年までは今のところに市役所はなかったわけで、そこまで歴史深いものでもない認識です。 ②については、こちらは是非取り組んでいただけると反対されないと思います。	中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能を現在の本庁舎がある場所に集約し、複合施設として市民の皆さんがいつでも集まり、楽しめ、交流できる場所にしたいと考えて計画してきたところで、この複合施設こそが鎌倉の象徴になると考え、説明してきました。そうではないというご意見もありました。そのような中において、意思決定機関である市議会、それと市長、総務・企画という部署を今の場所に残しながら、鎌倉の中心としての役割を担っていくことは、鎌倉の歴史の文脈からしても必要なことだろうと判断して、今回のように計画変更を提案したところです。
4	総務省は位置条例可決なしに分散化が違法でないと言っているのか。 財政面は大丈夫か。本庁舎に本部機能を置き、深沢庁舎に 8 割の職員を配置するとすると、新庁舎の 170 億円、御成庁舎の新施設に 136 億円という必要経費が同時にのしかかる。財政面は大丈夫なのか。	地方自治法上、本庁舎について明確な定義が示されていないため、鎌倉市の考え方（今回の案の考え方）を総務省に説明したところ、総務省から大阪府の裁判例が一つの判断基準となるという考え方が示されました。その裁判例を前提にした上で法律の趣旨から照らし合わせると、鎌倉市の考え方に「大きな違和感はない」というのが総務省の見解でした。 金額面について、新庁舎の整備に約 170 億円、市庁舎現在地の利活用には約 140 億円かかる計画を示しています。これまで庁舎の整備にかかる費用について、基金を積み立てきているほか、100 年使っていくことを考えている新庁舎は、将来世代が使っていくことも考えて、市債（借金）を利用して財政計画を立てて進めていきます。続く鎌倉の本庁舎の整備費用についても、財政計画を作って返済していく形です。両方の整備費用を足し合わせても、財政的にはしっかりと負担に耐えられる計画です。 市の市債残高（借金残高）は、以前は 500 億円を超えていましたが、現在は 300 億円を切るくらいまで減ってきており、神奈川県内では（借金返済の）負担が一番軽い数値です。（市債残額は、平成 22 年度（2010 年度）末時点で 43,572,043 千円、令和 6 年度（2024 年度）末時点で 26,434,231 千円です。）
5	2 拠点化にした場合、村岡・深沢地区のまちづくり計画との関係はどのようになりますか？これまでの計画と変わらないのでしょうか？	深沢のまちづくりは、基本的に変更はありません。 深沢のまちづくりは、「ウェルネス」というテーマのもとに進行していきます。約 30 ヘクタールの事業用地のうち、3 割弱を鎌倉市が保有しており、その保有する土地の中で、新庁舎と消防本部、総合体育館（アリーナ）、グラウンド、公園などの公共施設を整備する予定です。残りの土地は、主に JR 東日本が所有（6 割弱）していますが、この「ウェルネス」というテーマのもと、民間企業とも連携して、心身ともに健康になれるスポーツを切り口としたまちづくりをしていくかたちです。その中で、新庁舎とスポーツ施設を核にしながら、多くの人が集まり、交流でき、地域が活気づく場所にしていく計画です。今後、民間企業と連携しながら、具体化していきます。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
6	ご説明ありがとうございました。 現在ある「深沢支所」を新しく建替えて、「深沢新庁舎」として生まれ変わる方法はどうでしょうか？ あまりにも予算が膨大なので、増税が必須であると思います。	深沢支所を建て替える考えはなく、深沢地域整備事業用地に新庁舎を整備する計画です。（深沢支所のある深沢行政センター内の深沢図書館、深沢学習センターもその新庁舎と複合化する計画です。）深沢行政センターは支所等として利用しなくなることから、「鎌倉市公共施設再編計画」に沿って、賃貸するか、売却するかもしれない既存建物を活用していくかなどを検討し、財政負担を減らすという観点も踏まえ今後検討していきます（敷地内の国有地は平成 27 年（2015 年）に取得済み）。 なお、市庁舎現在地の利活用についても、「鎌倉市公共施設再編計画」に沿って、財政負担を減らすことをそもそも考えており、老朽化している中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能を、市庁舎現在地に移し、集約する計画です。これにより、今の中央図書館の土地の活用、鎌倉生涯学習センターの借地料の削減により、費用負担をしっかりと低減させ、財政的に破綻しないように、増税を行うことがないように進めていく考えです。 今回の計画の変更によって、何か追加となって新たに財政負担が明らかに増えるということは予定していません。ここを基本としておさえいただければと思います。市庁舎現在地の利活用について、「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画プラン 1.0」では、余剰となる一部を民間が活用することで、その収益で財政負担を少し抑えるということを検討していました。その民間に貸し付ける部分を、今回の案では本庁舎として鎌倉に残す機能の面積に利用するため、民間に貸すことができる面積が減少するという点が一つ財政的なデメリットですが、それ以外に多額な費用がかかることはないと考えているものです。
7	30 日に津波警報が出た際に、長谷地域の皆さんと避難場所にいたが、市役所本庁舎がいまの場所にあることがよい。 災害の起きる場所に近い場所に本庁舎があるという安心感がある。深沢地域にいったら、津波被災地に遠くなる。御成に本庁舎がある意味は災害対応でも市民の精神的基盤になる。それへの意見をお聞きしたい。	災害対策本部が近い現在の場所にあるということが精神的基盤になっているということだとすると、遠い人が不安であるかは、感じ方の違いの部分があるように思います。しっかり機能している災害対策本部があり、そこには単に市長や部長などの会議を開催できるだけではなく、その指揮に応じて職員がしっかりと災害対応を含めて仕事ができる状況が確保されているという点が、本質的に一番大事なことだと考えています。その点をご理解いただきたいと考えています。
8	現市庁舎敷地内での建て替え、補強も可能ではないか、駐車場の地下化を含め再度検討すべきと思うがどうか。	【補強ができないのかという点】 市庁舎現在地で災害対策本部機能を発揮し、大きな地震の後にも、職員が安全に災害対応を含めて仕事にあたるようにする基準を満たしていくには、現在の本庁舎に更なる補強ブレースを入れなければなりません。手狭な本庁舎に更にブレースを入れると、職員の働くスペースが更に減り、補強したとしても働くスペースが足りないので、別の場所に新しい庁舎を作らなければならないという考え方になります。 【建替えができないかという点】 鎌倉市がかけてきた風致地区条例による高さ制限（市庁舎現在地は 10m 以下）があります。制限を外せばよいというご意見もありますが、鎌倉駅周辺のまちづくりとして決めてきたことで、鎌倉駅前でも最大でも 15m までという高さ規制をかけています。もっと高い建物を建てたいという要求がある中、鎌倉のまちを景観面含めて、規制をかけてまちづくりとして守っていくためにこういうルールを作ってきた経過があり、市民や民間企業に厳しく制限をかけて、市役所だけは制限を免れて高い庁舎を建てるということについては、安易に進められる考え方ではないと考えています。更には、高い建物が建てられたとしても、地下にある埋蔵文化財の問題があります。本庁舎のある場所は、かなりの確率で大変貴重な文化財が埋まっていることが想定されています。隣の御成小学校の建替えの際に、奈良時代の鎌倉郡（本市と逗子市のほぼ全域と横浜市の西部と藤沢市の南東部）の役所（郡衙(ぐんが)）の跡や木簡等の変貴重な文化財が発見されており、校舎の建替えのために杭を打ったりすると壊してしまうため、建設場所を見直し、杭を打たない低層の校舎とし、小学校を建替えた経過があります。このようなことを想定すると、現在の市庁舎の場所に、災害に強い、しっかりと杭打ちをした地震にも強い高さのある建物を、計画することは非常に難しいということで、本庁舎を移転するというこれまでの計画を作ったものです。
9	現市役所に集約予定だった生涯学習センター、図書館、交流施設等の活用について、本庁舎に議会等が残った際には、そのスペース分がその分案分され、十分なスペースがとれないということになると懸念しますが、そのあたりの計画について伺いたいです。	十分なスペースが取れないということはありません。現在の市庁舎がある場所に、中央図書館、鎌倉生涯学習センター、市民交流のスペースを作ったとしても余るスペースがあることから、「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画プラン 1.0」では、市庁舎現在地に行政機能と鎌倉生涯学習センター、中央図書館、市民交流スペースを複合化し、その余剰部分を民間に貸すことを示しています。その民間に貸す部分を減らし、今回の案では本庁舎として鎌倉に残す機能の面積に利用するため、公共施設として計画していた部分を減らそうとする案ではありません。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
10	深沢側に議会等がなくなるということは、当初予定していた新庁舎よりも小さく設計されるのでしょうか。規模は変わらないでしょうか。	単純化して説明すると、現在基本設計を進めていた新庁舎の建物は5階建てで、その5階部分を議会とする計画のうち、この5階部分にある議会機能を新庁舎に配置しなくなるということが今回の案の大きな変更点です。現時点では、5階部分を全て無くし4階建てにするのか、5階部分を市民活用スペース等とするのかといった点については、結論を出していません。この点は、市民の皆さんに説明していく中で、ご意見を伺いながら最終的に方針を決めていきたいと考えています。
11	御成の本庁舎建替えは、2033 年深沢新庁舎完成後になると思いますが、御成新庁舎の完成はいつ頃になる見込みでしょうか？ （まだ決まっていないとは思いますが、お答えできる範囲で）	市庁舎現在地の利活用による本庁舎整備の時期はまだ決まっていません。今後、今回の案による計画が順調に進んでいけば、令和 15 年（2033 年）3 月前後に深沢の新庁舎が開庁した後、市庁舎現在地についても、そこから速やかに災害に強い場所として活用できるように、深沢の新庁舎と並行して検討していきたいと考えています。現在の本庁舎を建替えるのか、もしくは耐震補強して使い続けるのかについても、まだ決めていないため、深沢の新庁舎の計画と並行して検討を進めていきます。
12	御成庁舎に市長部局と議会部局を残すとして、中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能を同じ建物に入れることが可能なのか。特にホールと議場を同じ建物に造るのは、面積面から無理があると思うがいかがか。	ホールと議場を建物に入れることは面積的には可能だと考えています。 今後、様々な検討の余地あると考えており、仮に議場と市民の皆さんが使うホールの両方を作ることが過剰だという議論になった場合には、普段は、市民の皆さんや職員が使うホールとして使い、議会の時は、しっかりと整えて議場として議会を行う、というように、あらかじめ兼用できる議場をつくる事例も全国に様々なことから、そのように作っていくことは非常に効率的で良いのではないかと考えています。
13	反対意見の主要なものは歴史的文脈という理解でいいのでしょうか	反対意見には様々なありました。例えば、市民の皆さんにもっと理解してもらいたいというご意見や深沢の場所が危ないというご意見がありました。また、鎌倉の中心を移すべきではない、深沢が中心になるのはおかしいという意見もありました。 様々なご意見がある中で今回の案ですべて対応できているとは思いますが、位置条例の改正案が否決されてから2年半で感じてきたところは、市役所本庁舎を移転することに賛成か反対かという議論になりがちであったことです。こういった意見ばかりではありませんが、鎌倉の中心を移すべきではないというようなこととか、深沢が中心になるのはおかしいのではないかなという意見もありました。鶴岡八幡宮が鎌倉のまちの中心、真ん中にあり、その鶴岡八幡宮を中心に三方山で囲まれて、一方が海であるということがこの鎌倉の歴史的な文脈であると考えています。その文脈に沿って、本庁舎の機能を鎌倉に残していくことが、一定の意義のある部分だと考え、本庁舎を鎌倉地域に残していくという今回の案に至っています。
14	12 月議会に計画変更の議案を出すとのことですので、松尾市長は 10 月の市長選挙に出るお考えですか。	今回の説明において、「私が」という主語が「松尾崇が」と聞こえてしまう部分もあるかもしれませんが、市の計画を、市の代表として説明させていただいています。この計画は 10 月の市長選挙の結果によって、考え方が変更になる可能性はあると思いますが、この市の考え方を踏襲していく方が市長になれば、この流れに沿って進めていくということでご理解いただければと思っています。
15	移転可否の質問です。鎌倉側に住んでいる方の反対意見がフォーカスされがちですが、深沢側に住む方の意見は蔑ろになっていないでしょうか？	深沢に住む方の意見というのが、どういう意見かということもあろうかと思います。本庁舎を深沢に置くべきというご意見だとすると、今回それは実現できないということになるため、私（市長）の立場からはお詫びを申し上げます。ただ、今回本庁舎を移転することは手段でしかなく、それをやりたいわけではないというのが私（市長）の考えでもあり、市が進めてきた考え方でもあります。繰り返しになりますが、あくまでも大きな地震があった時に、市民の皆さんのために市の職員が継続して災害対応を含めて仕事ができる環境を作らなければならない、これが大前提としてあります。この点については、どの地域にお住まい方にもご理解いただけるのではないかなと思っています。 東日本大震災があった当時、10 年前には議会でも大きな議論になりました。今の市役所のままで本当にいいのか、市役所としてどうするのか、という問いをたくさん突きつけられたところです。市としては、そうしてスタートラインに立ち、災害に強い新庁舎を作っていく中で、この鎌倉市全体が災害に強いまちにしていくことを目指しながら、この計画を進めてきたということをご理解いただければと思っています。
16	新庁舎に予定されていた、余剰スペースの民間活用について、どんな内容を想定していたのかを知りたいです。	深沢の新庁舎ではなく、現在地利活用において余剰スペースを民間活用する計画をしていました。余剰スペースの民間活用については、民間からの提案を自由に受けていくことを前提として考えていたところです。考えられるのは、この場所が鎌倉の中心に、市民の皆さんがたくさん集まってくる、そういう魅力的な場所になっていくことを目指していたことから、例えばレストランやカフェ、もしくは図書館や学習センターに関連性のある民間のコワーキングスペース、ちょっとした宿泊所などもあろうかと思いますが、まだ決めているということではありません。 鎌倉地域のこの場所の魅力を高めていくというものは必須だと考えておりますので、決して高いお金を払った企業などが入るという考え方で選定していくというものでは決してありませんことをご理解いただければと思います。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
17	なぜ見直さざるを得ないことになったのか、市長としての率直な思いを聞きたいです	鎌倉市議会令和7年（2025年）6月定例会前に、各議員にこれまでの計画への理解を求める働きかけを行いました。結果的に位置条例の改正に必要な数の賛同は得られない状況でした。こういった状況を踏まえ、市議会6月定例会への位置条例の改正議案の提案を見送るとともに、この事業の一番の目的である「市民の安全安心を守るため、大規模災害時にも業務継続ができる安全な庁舎整備を早期に実現する」ということを最優先し、今回の案を考えたものです。

【令和7年（2025年）8月17日（きらら深沢）開催分】 参加者 45名

No.	質問	回答内容
1	見直し案によるコスト増についてお伺いします、初期整備費用、年間運営費用の増をそれぞれお示し願います。	見直し案による施設整備にかかるコストの大幅な増加はありませんが、現在の計画では、現在地の一部を民間企業に賃貸し、収入を得ることを想定していたため、議会機能や本庁舎が現在地に残ることにより、民間利用部分の面積が制限されるため、期待していた収入が得られなくなる可能性があります。この点が財政面なデメリットですが、市庁舎現在地の計画の全体規模やコストについて、大きな変更はないと考えています。
2	先日の津波は被害がなかったが、今後津波被害の対応のためにも、深沢で早く庁舎建設を進めてほしい	令和7年（2025年）7月30日に津波警報が出され、市役所に多くの方々が避難しました。今回は津波警報のみだったため避難者の受け入れが可能でしたが、大きな地震を伴う場合には庁舎の安全性が確保できず、避難の受け入れが困難になります。 東日本大震災では、鎌倉市は震度4を観測し、その際、市職員や市民は庁舎外に一度退避し、庁舎の安全確認後に庁舎内に避難していただきました。この経験から、地震に強い庁舎を拠点として整備することが重要であると考えています。
3	旧市内と周縁部のアンバランスを是正するため、遊休地を活用するという発想に賛成です。その上で、遊休地の活用においては、長期的な人口減少トレンドをどのように想定しているのか教えてください（市内新興住宅地の過疎化などを踏まえ）。	遊休地活用を、深沢地域という想定で回答します。この地域には約30ヘクタールの土地があり、そのうち約3割弱が鎌倉市有地です。市はこの土地に新しい庁舎や総合体育館、公園、グラウンド等を作ることを計画しています。残りの約6割弱はＪＲ東日本が所有しているため、ＪＲ東日本と協力し、土地区画整理事業を通じて市民にとって良いまちづくりになるよう進めています。また、人口減少の中で、人口を維持し、鎌倉のまちの魅力を高めるため、このまちづくりを進めていきたいと考えています。
4	現行案に反対する市議は（１）歴史的な観点で位置が動くこと、（２）必要な機能がなくなる懸念、（３）お金を使いたくない などいくつかの理由があると思います。要因別にそれぞれ何人の方が移転に反対されていますか？何が１番のネックでしょうか。	歴史的な観点で本庁舎の位置が動くことについて、この理由を特に強調する議員の方が2名ほどいるものの、それだけが理由ということではなく、単純に人数を把握できるものではありません。 市庁舎現在地に必要な機能がなくなる懸念について、移転により現在の本庁舎での窓口がなくなり、市民に不便が生じるのではないかという懸念もいただいています。市民にとって必要な機能がなくならないよう、整備する予定です。（従前の案からこの考えは変わっていません。） お金を使いたくないということについては、無駄な支出を避けたいという理由で反対されている議員の方もいます。
5	深沢の分庁舎の計画案でもモノレールの運送能力が今でもキャパオーバーのため計画の見直しが必要です。それよりも人口5万人の逗子市のゴミ焼却場を人口17万人の鎌倉市が間借りするのはあまりにもアンバランスの上、逗子のゴミ焼却場も老朽化の問題があります。計画を白紙にして深沢にゴミ焼却を新設する事を強く提案します。	大船駅発の下りモノレールの混雑は確認しており、特に多くの職員が深沢で働く場合、運送能力を考慮し、職員の働き方等を考えていく必要があると考えています。 また、ゴミ処理に関しては、逗子市のゴミ焼却炉の老朽化を背景に、広域でのゴミ処理も検討しているところです。日本全体で焼却能力の余剰があるため、鎌倉市では逗子市に限らず、他の自治体や民間と協力して安定的にゴミ処理ができるようにしていくという考え方であり、ご理解いただければ幸いです。
6	反対派の人達にも納得いただける折衷案として、とても良いと思います。移転により今の市役所の近くに住んでいる住民は、不便にならないのでしょうか？	市庁舎現在地と深沢新庁舎の両方で手続きが行えるようにすることとしています。これにより、市庁舎現在地の近隣の方が不便になることはありませんが、専門的な相談や人生で一度くらいの手続き（例えば、道路に関することや家を建てる相談）は、直接訪れていただく必要も考えられます。ただし、手続き等のオンライン化も進めていますので、その点につきましては不便にならないと考えています。
7	震災後の事務を行うため、全国の市役所職員やボランティアの力が必要です。その拠点になる市役所は広い安全な建物が必要、今の所では津波被害や土地環境が悪い、何階トラフの前に早く対してほしい	ボランティアセンターは社会福祉協議会を中心に考えていくことになりますが、多くの他自治体等の職員を受け入れることは重要であり、その視点も踏まえて新庁舎が必要であると考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
8	ここ何十年先まで続く話なので、高齢者の話よりも、若者、若年層の意見を聞いて進めた方が良いと思うが、どういう状況が？	高齢者の方だけが反対しているわけではなく、年齢に関係なく次世代のことを考え、共通の理解を持つことが重要だと考えています。高齢者の中にも次世代のために考える人もいるため、「俺はもう使わないからいいや」と決めつける発言は避けていただき、世代を超えて次世代を考える姿勢が大切だと考えています。
9	① 深沢予定地の液状化懸念について 26.5メートルに岩盤層があると聞いていますが、杭打ちは何メートルまで行なう計画でしょうか？岩盤層まで、杭打ちを行えば、液状化は防げるのではないのでしょうか？ ②現庁舎はそのままの形で残すのですか？ それとも、一部解体するのですか？	①について、地盤に打ち込む杭の長さは岩盤までとなり、岩盤層まで 26.5m であれば、杭は約 27m と想定しており、この長さが特別に難しいものではないと考えています。詳細な設計はこれから進める予定です。 ②について、現庁舎をそのまま残して耐震補強するか、解体して新たに建て替えるかはまだ決定していない状況です。現庁舎をブレースで補強する案も技術的には可能で、この点に関しては、今後市民の皆さんからの意見を参考に決定する必要があると考えています。
10	防災拠点は深沢に整備されると承知していますが、見直し案が実現された場合、市長は通常は鎌倉の庁舎に常駐するのでしょうか。その場合、通常の業務や、特に有事の際に意思決定のスピードに影響は生じないのでしょうか。	現庁舎に市長室はありますが、実際には外出することも多くあり、常に庁舎にいるわけではありません。どちらの庁舎（深沢新庁舎または鎌倉庁舎）にいても災害発生時には対応できるようにしなければいけないと考えており、意思決定のスピードには特に大きな影響はないと考えています。
11	柏尾川流域は、たくさんのマンションが建っているが、反対派の人達は、市役所移転先は、底なし沼みたいなことを仰られています、実際はどうなんでしょうか？	底なし沼という表現は、大げさであると思いますが、きちんと科学的に安全に建てられることは間違いないと考えています。
12	なぜこの時期に一部見直しを行うのでしょうか。市長の任期との関連はありますか。	市長選挙が 10 月に行われるという時期ではありますが、その前に見直すことは任期とは直接的には関係がありません。市議会議員選挙の結果を受け、今後の方針を考える必要がありました。市長選挙は市民のみなさまから重要な判断を得る機会でもあるため、大切にしていきたいと思います。
13	神奈川県内 17 市で 1960 年代に建った市役所は平塚市（1964 年）、相模原市・鎌倉市・秦野市（1969 年）と聞いています。今の市庁舎を補強して使い続けるとした場合、あと何年使い続けることができると反対派の方は主張されているのでしょうか？5 年-10 年程度延命できたとしても、総額ではさらに高くなるのではないのでしょうか？	現庁舎は耐震性能だけでなく、空調設備や断熱性能など様々な課題を抱えています。現在の空調設備では、場所によって温度の不均一がおき、性能についても現代の水準には及びません。これらの課題も踏まえ、建物を補強して使い続けるよりも、新しく建て替えた方がトータルコストを抑えられると考えています。
14	物価高騰により建設コストが跳ね上がった点について、反対が無ければ、もっと安く、もっと早くできていたと思いますが、どの道、立て直し急務な状況なので議論の余地はないかと思いますが、財政的にはどうでしょうか？	物価上昇が続く中で、新庁舎の建設を迅速に進める必要があると考えています。財政的には、過去 15 年間、市では財政の健全化に取り組んでおり、市債残高は 400 億円以上（平成 22 年度（2010 年度）末時点で 43,572,043 千円）から 300 億円未満（令和 6 年度（2024 年度）末時点で 26,434,231 千円）に減少し、神奈川県内でも負担が最も低い自治体の一つとなっています。このような財政状況を背景に、新庁舎を建設するために市債を活用しつつ、財政計画を策定して計画を実現していく方針です。
15	新庁舎を建設することによって市民の負担（税金など）が増えることはありませんか？そこを心配なさる方もいらっしゃると思います。	深沢の新庁舎と鎌倉の庁舎を整備することによって何か増税をするということは考えておらず、そのような予定もありません。
16	進め方に対する意見です。日本は議会制民主主義の国であり、市民の意見は市議会（直接的には市議選）で示すべきであり、市との直接対話を強要することには反対です。	今回の市議選での民意だと思います。そこを受け止めて、今回の案を考えたということになります。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
17	市庁舎の機能について説明がされた。シティオフィスの機能が2箇所に分かれることで非効率で経費増になる恐れはないか？	当初の案は1 か所で集まって業務するため効率的でしたが、この案では効率性の点でデメリットはあると考えています。 しかし、テクノロジーの進展により、人が移動して対面で会議するかオンラインで開催するかといった選択肢が増え、効率的に対応できると考えています。 そのため、大きな問題にはならないと考えています。
18	議会对策？中途半端な折衷案？何故、市議会の理解を得るためにとことん対話出来ないのでしょうか？	位置条例の否決後の2 年半、市議会議員と対話してきましたが、結果として、合意を得ることができませんでした。 今回、議会での議論や市民との意見交換を経て、この提案を出したものです。
19	三鷹市役所は駅から離れていて、三鷹市民に聞くと、本庁舎に行かなくても支所で事足りるので、立地の良いところにある必要は全くないとみんなが口を揃えて言っているのですが、鎌倉市ではどうなのでしょう？	オンラインでの手続は、役所に行く必要がなくなるため、今後はそのような方法がますます増えると考えています。一方で、対面で手続したい方にとっては不便になるとの指摘がありますが、鎌倉でも深沢でも対面での手続は可能ですので、問題はないと考えています。
20	本庁舎の定義についてもう少し詳しく教えてください。本庁舎・分庁舎にはそれぞれどのくらいの職員が勤務しますか？（編集済み）	本庁舎の定義は総務省から明確なものは出ていなく、大阪府の判例が参考となります。判例では職員数よりも意思決定機関の所在が本庁舎と見なされる重要な要素とされています。 この考え方に基づき、新しい案での本庁舎の考え方について、国からも特に違和感はないと見解をいただいています。職員数は、深沢が4 に対して本庁舎が1 の割合を想定しています。
21	現在の庁舎を残すとして、市長室とか議会と窓口業務以外に、何か作る計画はありますか？	観光の窓口は鎌倉駅と観光協会周辺が良く、文化財の窓口は鎌倉歴史文化交流館や鎌倉国宝館の近くに置くことが良いのではないかと考えていますが、配置については今後の検討事項です。
22	特に災害時においては市長を始めとする意思決定機関の迅速な対応が求められると思うのですが、その部分が鎌倉庁舎に残ることで問題は起きないのでしょうか？	（No. 10 の回答を参照してください。）
23	大変難しい状況のなか、鎌倉の未来のためによい方向性をつむぎだされた関係者の皆様のご努力に心より敬意を感じます。この上は、気候変動による自然災害の激甚化などを鑑み、一刻も早い新庁舎建設が必要かと感じましたが、現在の計画ではいつ開庁予定なのですか？	令和 15 年（2033 年）3 月前後の開庁を予定しています。
24	質問 3 点あります。口頭で質問します	後でお聞きします。
25	御成の現在地の活用についてせっかく将来を見越した良い計画を作ったのだから、それが2 拠点案で後退するようなことがないようにしてほしいが、いかがか。	後退することがないように配慮して進めていきたいと考えています。
26	鎌倉市議会議員の反対している方々は説明をしているのに何故反対をするのでしょうか？議員の方々の公約は子供の為、お年寄りの為とおっしゃってますがホントに思ってるのでしょうか？	各議員の公約について、（その真意までは）わかりませんが、それぞれの方に反対の理由があるものと認識しています。
27	今回新庁舎ついて安心安全市員のためと言われているけれど、昨年 12 月 25 日鎌倉市環境部ごみ対策減量課職員が市民に対して脅迫や脅しをしたことについて教えてください。	個別のお話のため、きちんと対応したいと考えています。
28	現在の庁舎は、震度 6 までなら大丈夫との事だが、能登では震度 7 が観測されているので、震度 7 で考えるべきではないか？	現在の庁舎は、震度 6 の地震に対して倒壊しない基準までの耐震性能を持っていますが、実際には詳細な状況を確認しないと確実な判断は難しいです。震度 6 では直ちに建物が倒壊することはありませんが、被災後もそのまま安全に利用し続けることができない可能性があります。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
		新庁舎では、建築基準法で求められる 1.5 倍の地震力にも耐えられるよう設計を進めます。現在の庁舎を改修する場合でも、同様に耐震性能を高める必要があると考えています。
29	議会など現在地に残す施設はどのように建設するのか。仮議会棟を深澤に作るのか。	深沢の新庁舎が先に完成すると、次に鎌倉の庁舎をどうするかという問題が生じます。建て替える際、仮設で議会棟を作ることも一案ですが、現庁舎周辺にある分庁舎を活用し、議会を一時的に移すことで対応できることも考えられます。そのあたりは、今後検討していきます。
30	2 拠点という形をとってしてもなぜ深沢に庁舎を作らねばならないのか。それは市民の命を守るためという説明に心から納得です。これまで反対されてきた方への配慮もされていることに市長はじめ職員の皆様のご尽力に感謝します。それでもなお反対する理由がわかりません。コスト面を考え元々の本庁舎移転に賛成だから、という理由ならわかりますが	ご意見として承ります。
31	今の庁舎だと危険かもしれないのに何故移転に反対されるのか、2 拠点にすると人件費がかかるのは反対されてる方々は納得されてるのでしょうか？危ない庁舎に市民の方々が利用するのは議員さんは納得してるんですか？	何度も議会では説明していますが、反対されている議員の方がどう考えているかということを代弁することは難しいです。
32	説明会では、今までの状況に詳しくない人もいますので、以下のような内容を A4 一枚にまとめた表を印刷して配ってはいかがでしょうか。現状の課題/その対策（市役所移転の内容）、今まで反対された理由/その回答（予算の関係であれば具体的な見積費用等の内容を盛り込む）	ご意見として承ります。
33	市役所に何回か手続きでお伺いしましたが、スペース・空調等も含め職員の方の勤務環境として劣悪であると感じます。政治的に難しいテーマではありますが、働く方にとっての必要性も、定量化(例えば職員一人当たりのスペースなど)や、定性基準と比較して訴えていくことはできませんか？(私は市役所関係者ではありません)	ご意見として承ります。
34	今の庁舎だと地下に電気室があると伺いましたが地震、津波がきた時に電気室は機能できるのでしょうか？	現庁舎では地下が水没した場合には、電気室は使えなくなります。
35	先に深沢に新庁舎をつくり、その後に御成の現在地の整備をする。御成に「残す」行政・議会機能は、御成の整備時には深沢の新庁舎で引き受けなくてはならないのだから、その間引き受けることを考慮した深沢新庁舎にしないでならない。基本設計を大きく変更して減築に進むべきではないと考えるが、市長の見解は？	これまで基本設計を進めていた新庁舎の建物は5階建てで、その5階部分を議会とする計画でした。この5階部分にある議会機能を新庁舎に配置しないことが今回の案の大きな変更点です。現時点では、5階部分を全て無くし4階建てにするのか、5階部分を市民活用スペース等にするのかといった点については、結論を出していません。この点は、市民の皆さんに説明していく中で、ご意見を伺いながら最終的に方針を決めていきたいと考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
36	この計画はこれからの鎌倉の未来にとってとても重要な勇気あるものだと思います。未来世代のまきこみなども計画されていますか？	未来世代の巻き込みは十分ではないと思っていますので、未来世代の方にもこういう場に来てもらい、いろんなご意見もらえるようにしてまいりたいと思います。
37	1 鎌倉の人口重心は旧市街地内外南北 5km 東西 9km。議会は場所ではなく内容でどこでも問題はないのでは？広報情報はかなりあるが理解していないのは市民の問題でもあるが更に広報は必要。電源設備・老朽化など現庁舎は問題が多い。今の非常に価値の高い場所は市民活動・インバウンド・災害対策のための新しい施設を将来を考え創って欲しい。	現庁舎の場所は非常に価値の高い場所であり、市民の皆さんが集まれる場所にしていく考え方に変わりはありません。また、災害にも強い場所にしていく考え方にも変わりはありません。
38	今の市役所でも職員が多すぎると思ってるのに2拠点になったらまた人件費がかかり市民の負担がかかるのは皆さん納得できるのでしょうか？税金の為に働いてるわけでわないんですけど	市の職員数は判断が難しいですが、現在の業務量増加に伴い残業が増えており、職員も厳しい状況にあると考えています。しかし、AI や IT 技術の進展により業務の効率化が期待できますので、2拠点になったとしても、人件費が増加しないようにしていきたいと考えています。
39	現行市庁舎を補強して使い続けるとした場合の、補強後の想定耐用年数を教えてください	現在の庁舎は築 56 年であり、老朽化が進行し、鉄筋の錆びや爆裂が見られることから、当時の設計では 100 年持つような、耐久性は期待できないと考えています。
40	地震や津波の避難先として、今後は本庁舎も使えるようになるのですか？もし使えない場合は鎌倉駅周辺住民や観光客は、深沢まで移動することになるのでしょうか？その場合、移動は可能と想定されているのでしょうか？	災害の状況によりますが、非常に大きな地震の場合はそのまま使えない可能性が高いです。その際、深沢に移動するということではなく、鶴岡八幡宮などの社寺を避難場所として協力いただけるよう協定を結んでいます。今回、御成中学校に約 2,000 名の方が避難したこともあり、小中学校や公共施設を活用することが現状での避難対策と考えています。
41	御成の庁舎は必ず建て替えてください。本庁舎かどうかよりも全市域の市民にとって役に立つ施設かどうかの方がはるかに大事であり、外部有識者の委員会も建て替えが望ましいという意見だったのですから、建替えという方向性を確固としたものにしていただきたいが、いかがですか？	ご意見として承ります。
42	今 市民は平均年間何回くらい市庁舎へ行ってますか？議会へ行ってもいつも傍聴者は5人もいないが	人にもよりますが、一般的な手続だけの場合はほとんど行かないのではないかと思います。
43	市庁舎を一番知っているのは市職員だと思います。反対する人たちは毎日来るわけでも一日中いるわけでもありません。その意味で今回の見直しに関して職員とはどの程度議論を尽くしているのでしょうか。職員からの意見は取り入れてますか。	この見直し案については、職員内の議論はまだ十分ではありませんが、従来の市役所の移転に関して、職員が理解した上で進めてきたものと認識しています。今後の見直し案についても、職員全員が理解した上で、意見をいただこうと考えています。
44	気候変動などにより、災害の規模は現状の延長線にはないと思います。風速 70 メートルの台風なども予測されています。現庁舎はもとより、新庁舎もそこまでの打たれ強さを前提に設計されているのでしょうか？	新庁舎は法律に基づいた耐風圧などを検討するほか、市庁舎現在地も同様に法律の基準に従って進めていく予定です。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
45	反対派の人達は、今の庁舎を長く使いたい様なので、そうすると、現在地を建て直してのホールや図書館は作られないでしょうか？	鎌倉市では公共施設再編が大きな課題であります。現在の中央図書館や鎌倉生涯学習センターなどのすべての公共施設を同じ場所で建て替えると、市の財政では賄いきれないほどの費用がかかるため、市民サービスを維持しつつ効率的に再編する必要があると考えています。
46	現庁舎を津波対策の為の大規模避難所としての役割、機能を持たせる必要性があると考えますが…いかがでしょうか？	スペースに限りはありますが、避難場所としての役割、機能を持たせることは考えています。
47	この計画をにかけて、市長選にうって出て、当選したら、進めることに問題ないと考えますが、いかがでしょうか？	あくまでも、鎌倉市の行政計画の変更ですので、誰が市長になってもこの考え方でいくということであれば、当然進んでいくということになります。
48	説明会のお話を聞いて、今回の市役所移転の内容は、議会の 2/3 以上の賛成は不要なので、議会の賛成不要かと思えます。つまり、市役所移転の予算について議会の賛成（1/2 以上）が得られれば、今回の案は実行できるので、市長が変わっても変わらなくても深沢に新庁舎を作るということで間違いないでしょうか。	市長が代わり、その市長の考え方によって、この方針が変更になる可能性はあると思いますが、この市の考え方を踏襲していく方が市長になれば、この流れに沿って進めていくということでご理解をいただければと思っています
49	説明会ありがとうございました。市役所の皆さんも本当にお疲れさまでした。大変分かりやすい説明と、市長さんが市民の方々の質問に答えていかれる中でどんどん理解が深まりました。新案ではなく、現行案での移転を希望していますが、新案の形も(2 拠点で費用がかかるというデメリットはありますが)よいのかなと少し感じました。	ご意見として承ります。
50	二つになった場合、相当の費用がかかるってことをまずご認識いただきたい。私達の試算では、新庁舎建設に 170 億円、移転跡地建設 144 億円、合計 310 億円掛かる。ただし、これはだいたい前の計算ですので、おそらくこの倍はかかるでしょう。全国で工事ができなくて、計画を変更した市や町がいっぱいあります。大磯町、軽井沢町、世田谷区、他にもいっぱいあります。今は箱物をタイミングで作る時代じゃなくて、しっかり維持し直していくのが良いと思います。私達の計算ですと、現庁舎をきちっと改修すれば 19 億円でできます。先ほど古いと言っていたが、京都市役所は、築 98 年ですが、立派に機能し、京都の名所になっています。鎌倉市役所もきちっと手入れすれば、鎌倉の名所にもなるかもしれない。東京駅も築 100 年を超えています。 この間、津波騒ぎがあって、避難場所となる小学校の体育館にエアコンがない、トイレの洋式化が進んでいな	深沢小学校の体育館の便器の内訳は把握していませんが、全て洋式にはなっていないという認識です。（深沢小学校の体育館の便器の内訳は、男子トイレに小便器 4、和式便器 2、女子トイレに洋式便器 1、和式便器 2 になります。） 体育館の空調とトイレの整備に関しても県内自治体に比べて遅れをとっていることは認識しており、改善に向けて取り組んでいます。新しい施設の建設について否定的な意見も一部ありますが、現状を考慮し、計画を継続する必要があると考えています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	い。深沢小学校の体育館に七つトイレがありますが、このうち、洋式トイレはいくつあると思いますか。 答えは七つのうちたった1つです。今一番必要なのは、小学校のトイレを全部洋式化し、エアコンを設置することのほうが対策として有効だと思いませんか。	
51	移転計画について、議会を通っていない。これは皆さんご存知だと思いますが、この議会が通らない、通っていない状況で、なぜか市は移転を先に進め、それに対し新聞等で見ますと相当な設計等いろんな関係で費用がかかっています。その辺りを議会に通してから、進めるなら話がわかるのですが、その議会が通っていないにも関わらず、移転だけが先走りして、それに対してどの程度の額がもう既に使われているのか。また、業者選定の観点から、競争入札により業者を選定したのか、それとも市長の知り合いの業者に頼んだのか。まずは議会を通してからすべてのことを進めるのが筋だと思うが、どうか。	事業者選定について、市長から何かを頼むということは全くありません。 その上で、位置条例の可決には議会で3分の2の賛成が必要ですが、予算は過半数で可決をいただけます。これまでの計画や基本設計に関する予算につきましては議会の承認を得て進めてきました。今回の提案では、位置条例の可決に必要な3分の2の賛成ではなく、過半数の賛成で可決されるため、進めることができるものと考えています。
52	市長が間に入って、賛成、反対の両方の方々の意見を聴き、反対している人が何に反対しているかを改めて聞いてから話を進めたらどうか。	議会制民主主義の中では、そのような決定は議会を通じて行われますが、市民の意見を無視する意図はありません。否決の後も、市民の反対意見を職員や私（市長）自身が伺い、対話を行ってきました。反対意見にも耳を傾けながら進めていますので、ご理解いただきたいと考えています。
53	昨年日建設計がコンペを取った本庁舎案は、逆に分庁舎に適用されるのでしょうか？設計者がまた再任されるのですか？それとも、日建設計さんでそのまま進めるのでしょうか。	（基本設計については、受注者である）日建設計の案を基本にしながら進めていく対応を考えており、そのまま日建設計に履行していただく予定です。
54	位置条例の3分の2が通らなかったもので、80%を深沢に、20%を鎌倉に残すことになったということで、位置条例が可決していたら、新しい案はなかったということでしょうか。余計なコストがかかることやコミュニケーションもやりにくくなるので、反対の人と賛成の人とよく話をして、まとめてほしい。 本日市長が答えた回答は後日ホームページで公開してくれるのでしょうか。	仮定の話ですが、位置条例の可決をいただければ、今回の案はなかったものと考えています。 その上で、2年半かけて取り組んできましたが、議会制民主主義の中での3分の2の賛成を得るのが難しいと判断し、方向転換を決断しました。この決定は、災害時に市民への影響を最小限に抑えるために迅速な進展が必要であると判断した結果です。3分の2の賛成を得る努力を続ける選択肢もあることは認識していますが、現段階では早急に結論を出すことが市民にとって重要であると考えています。 今回に限らず、この4回の説明会におけるQ Aについては、HPに載せる予定です。

【令和7年（2025年）8月21日（オンライン）開催分】 参加者 37名

No.	質問	回答内容
1	本庁舎は安全に業務ができないが、建て替えも耐震化も現実的ではないという判断の元、新庁舎の話がでてきた	議会を残す本庁舎の整備については、新庁舎の整備の次になります。その整備方法は、まだ決定していませんが、耐震補強、または、建替えの二つの方法が考えられます。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	ものと理解しましたが、本庁舎で議会を残す、市民サービスを残すというのは理解できません。それらは安全でなくても問題無い、と言う判断でしょうか。 中途半端に残すのであれば新庁舎にまとめた方が効率よいように思います	鎌倉中央図書館、鎌倉生涯学習センターの機能、議会、更には市長室、総務や企画の政策決定機関については、面積的には入り、災害にも強い施設とすることを考えています。
2	深沢新庁舎は深沢支所を改築すれば良いのでは？ 新庁舎は村岡新駅とセットになっていると聞いた。そして駅周辺の地価が上がって西鎌倉や鎌倉山まで固定資産税が上がると聞いた。どのくらい増税になるのか説明してほしい。	既存の深沢支所を改築するだけでは、必要なスペースが確保できず、大地震などの災害後に職員が業務を継続できる環境が担保できない形になりますので、深沢地域のまちづくりのなかで、新庁舎を作る計画としています。 また、新庁舎が村岡新駅とセットになっているという情報は誤っており、セットにはなっていません。 駅周辺の地価が上がって、固定資産税が上がるとことはあると思います。ただし、どのくらい増税になるかということについては、具体的な試算はできていないです。
3	窓口業務は本庁舎も新庁舎も同じような手続きが出来るのでしょうか。	本庁舎も新庁舎も、市民の皆さんが必要な窓口業務については、同じような手続きができるように考えています。土木関係や、家を建てるなど専門的な手続きについては、深沢の庁舎に移ることになりますが、市民の皆さんにとって通常の手続きについては不便のならないようにと考えています。
4	新案の場合「結局鎌倉市役所はどこですか？」と言われた場合「鎌倉と深沢の両輪」という回答になるのでしょうか？市民との対話の件からすると、市民としては両輪ではなく「鎌倉です」という回答が求められるのではないか（故に新案に対してもある程度の反対意見が出てしまうのではないか）とも思い質問させて頂きました。	鎌倉駅前にある庁舎が本庁舎となります。市役所という質問ですと、鎌倉と深沢の両輪で市業務を行っていくことになるのでは、鎌倉と深沢の両輪という回答になります。
5	1，2 拠点整備案は、妥協的色彩が濃厚で、無理、無駄が多い。 2，市民は新庁舎への大型投資による財政圧迫を懸念。 3，市内インフラの劣化が進む中で、新庁舎に予算を集中して良いのか。 4，将来の財政見通しと返済計画を詳らかにして、「原案」で市民の信を問うべきではないか。	仮に3分の2以上の賛同が得られ位置条例が可決していれば、この案は出さなかったことからすると、新しい案が妥協であるのご指摘は受け止めます。無理、無駄が多いのご指摘については、市民の皆さんから見ても無理、無駄を極力少なくすることが必要だと考えています。従前の案と比較すると、議会、市長室、意思決定機関のいる本庁舎と、多くの職員がいる深沢が離れるため、職員間等のコミュニケーションの取り方が課題になります。会議はオンラインで対応できることや、市長が市長室に常時在席しているわけではないことから、距離が大きなデメリットにはならないと考えています。 大型投資による財政圧迫については、新庁舎の整備はやらなければならない不可避な事業です。その理由は、大きな災害があった際に、市職員が継続して仕事ができる環境がないと、市民の皆さんに多大な迷惑をかけてしまうためです。鎌倉市の財政状況を説明すると、市債（市の借金）の額は、かつては400億円（平成22年度（2010年度）末時点で43,572,043千円）を超えていましたが、現在は300億円（令和6年度（2024年度）末時点で26,434,231千円）を切っており、神奈川県下の自治体のなかでも、市債の割合が一番低い状態です。今後庁舎整備に借金を作ることになりますが、新しい庁舎は100年使っていくことを目指しており、負担の平準化をしながら、返済計画を作って進めていく予定です。 インフラの劣化が進む中で、新庁舎に予算を集中するとの指摘についてですが、市では鎌倉市公共施設再編計画と鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画を作成し、マネジメントを進めています。指摘のとおりインフラの劣化が進むことは大きな問題です。庁舎を作るからインフラを先送りするのではなく、しっかりとマネジメント計画に基づいて進めていきます。 現案で市民に信を問うべきとは、住民投票の話かと思います。住民投票も一つの手段だと思いますが、議員や市民の皆さんと話しているなかでは、住民投票で賛成の結果がでても、そのまま議会の3分の2以上の賛成につながるとは限らないと考えています。もちろん、市民の皆さんの意見を伺うことはこれからも継続していきます。
6	今での計画と今回の計画で市としての施設整備金額はどの様に変わってくるのでしょうか？	深沢の新庁舎は約170億円、鎌倉の市庁舎現在地は、新しく作るのであれば、約140億円がかかる試算です。どちらも物価上昇の影響は加味していないので、その上昇分を加えることになります。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	また、深沢の新庁舎計画は縮小することになると思いますが、その結果、深沢の敷地活用（市庁舎以外の計画）に從來からどのような様な変更が考えられますか？	深沢の新庁舎は5階建てで基本設計を進めており、5階の部分に議会が入る計画となっていました。新しい計画では議会が新庁舎には入らないことになり、ます。この5階部分をなくして4階建てにするのか、5階建てのまま、5階部分を市民の新たなニーズにあわせたものにするのか結論を出していません。今回新しい方針を示し、市民や議会とも意見交換を進めながら、結論を出したいと考えています。
7	ご説明ありがとうございました。見直し案で本庁舎を建て替える場合、御成小のように地下埋蔵文化財を保存したうえでの建築となりますか？	本庁舎の建て替えで、地下埋蔵文化財の存在が明らかになった場合、御成小学校の事例のように、それを保護した上での建築する可能性が高いと考えます。現在の本庁舎で既に地下工事を行い、埋蔵文化財を壊してしまった部分については、杭を打つことが可能となりますが、それ以外の現在の駐車場の部分などは、杭を打たずに建築することになると考えます。
8	1) 深沢の庁舎へはシャトルバスなどは通るのでしょうか。 2) 今の本庁舎で作られるシティホール機能についても少しどのようなものがお聞かせいただけますでしょうか。手続きの窓口だけでなく、市民が楽しく使える場所になることを期待しています。	現在の鎌倉の本庁舎と深沢庁舎を繋ぐために、シャトルバスないし何らかの方法でつないでいくことなど交通環境整備が必要になると考えています。 今の本庁舎でつくるシティホールは、鎌倉中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能を入れていくことに変わりはありません。図書館、ホールの機能がバラバラにあるのではなく、大和市のシリウスのような図書館やカフェがオープンな形で併設され、市民が集える場所、落ち着いて勉強ができる、市民の居場所として使える、交流できる、また新たな気づきや学びがあるなど、楽しく使える場所を目指したいと考えています。
9	市役所が深沢と御成の二拠点体制となることでどのようなメリットがあるのでしょうか？	従前の案でも深沢も鎌倉にも市の職員はいる計画でしたが、鎌倉の本庁舎に従前の案よりも多くの職員がおり、深沢の新庁舎4、鎌倉本庁舎1の割合になる案です。二拠点としたメリットですが、災害に強い庁舎が二つできることで、市民にとっては避難する場所、市役所にとっては災害に対応する拠点が二つになることとなります。
10	本庁舎を再整備して議会や図書館、生涯学習センターを入れるとの事ですが、図書館や生涯学習センターの元の場所はどうに活用される形でしょうか。売却して本庁舎再整備費用に充てるような形でしょうか	公共施設の再編計画の考えからすると、様々な公共施設や、インフラの更新に莫大な費用が掛かります。集約して残った土地は、売却や賃貸などにより、新しく作るものの財源に充てていく方針です。個別の土地については、具体的には決定しておりませんが、鎌倉生涯学習センターの土地は借地ですので、跡地になれば返す予定となります。深沢行政センターも、深沢の新庁舎に移るため、その土地も財源として活用していきます。このように財源を確保していきながら、公共施設を順次更新していくことが、今の鎌倉には必要になります。
11	鎌倉と深沢の両輪での2拠点体制の新しい提案ですが、今後のスケジュールとして、着工までの目処及び移行時期などはこれまでの計画と比べて遅れてしまう見込みでしょうか。	新しい案では、令和15年（2033年）の3月前後を開庁の予定時期にしています。従前の計画よりは少し遅れる見込みです。
12	玉突きのお話が出ましたが、鎌倉芸術館への影響はあるのでしょうか？（あれが市営なのか民間のものなのかかわからずに質問しております）	鎌倉芸術館は市が運営している施設で、土地は借地です。現時点では特に影響はありませんが、老朽化が進んだ場合、その更新は市の財政負担になるため、将来的な課題として捉えています。
13	ありがとうございました。既に回答ありましたら申し訳ございません。 本庁舎に機能を残す場合にも、いつまでも現庁舎は利用出来るわけではないと思います。 将来的にはすべての機能を深沢に移転するのでしょうか。	現庁舎を永続的に利用できるわけではなく、新しく建て替えるか、耐震補強するかを検討していきます。深沢に新庁舎が建設され、多くの職員が移転した後、現庁舎に手を入れることとなりますので、それまでには方向性を決めることとなります。
14	本庁舎の土地を再使用する必要はあるのでしょうか。鎌倉駅に極めて近い一等地を市の施設で使うのはもったいないのではないのでしょうか。鎌倉駅から多少離れても安い土地を使い、費用を抑える事はできないのでしょうか。	従来の案は、鎌倉駅に近い一等地にある市庁舎現在地を有効活用する視点で議論してきました。市民の財産ですので、居心地の良い場所、行きたい場所にすることに主眼を押して、鎌倉中央図書館や鎌倉生涯学習センターの機能のほか、交流、活動、発表の場となることを目指してきました。 今回の見直しの中で議会など意思決定機関を市庁舎現在地に残すことになり、市民活動の場と本庁舎が、別の場所ではなく、一体となった、若しくは補いあえる場所にしていくことが鎌倉の一等地の活用として相応しいと考えています。
15	質問ではなく感想ですが・・・	本日、説明会の資料を画面共有させていただいていますが、説明会の資料は市のホームページに掲載しています。

新庁舎等の整備 市民説明会における質問と回答

No.	質問	回答内容
	個人的には二拠点体制には非効率の観点はあるものの レジリエントの観点からは良いとも感じます。 本日の説明資料でざっくりとは機能がどう再配置されるか と言うことは分かりましたが、松尾市長が口頭で説明してく れた内容が含まれた資料があると良いと思いました。 また、今までの計画に比べてどの様な良さを発揮できる のか、財政負担はどうなるのかなど明らかにした情報も提 示してもらえると良いと感じました。	【資料の URL】 https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/202508setsumeikai.html
16	湘南深沢の水害に対する心配については移転反対する 方々へは納得していただけるのでしょうか？	（最大規模の降雨を想定した）1,000 分の 1 確率の浸水 想定では、深沢の土地区画整理事業のほとんどのエリアが 浸水する想定となっており、新庁舎の整備予定地も、柏 尾川から一番遠い場所ですが、現状では大部分が浸水する 想定になっています。この対策として、土地区画整理事業 を進めるなかで、浸水しないよう造成する計画です。た だし、想定外の浸水もあり得ますので、地下に電源を置 かない、1 階も浸水を想定して作るなど市役所の機能が失 われないよう計画していきます。
17	説明ありがとうございました。新庁舎は必須と思いま す。本庁舎の再整備については、市民負担を可能な限り 避ける形で、深沢新庁舎を早期に進めて頂ければと思 います。	市民負担を抑えつつ、早期に進めたいと考えます。

※それぞれの日程でいただいた質問（時間内に扱えなかったものを含む）に対して、改めて回答を整理したもので、日程間で用語・表現の統一を図っています。

※投稿された質問は原文のまま掲載しています。口述で受け付けた質問は要約を掲載しています。

※位置条例：鎌倉市役所の位置を定める条例

【令和 7 年（2025 年）8 月 23 日（鎌倉商工会議所）開催分】…順次追加予定